

科目名	教育の社会制度論			担当教員	中島 葉子
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	ED2EFE103
期待される学修成果	基礎教養 学校と社会				
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	本講義の到達目標は次の7点である。1.教育制度が学校教員の日々の教育活動を支えていることを理解し教育制度に関する興味・関心・考察を表現する。2.公教育の各原理および現代日本の公教育制度の課題を該当する法をあげながら説明できる。3.公教育の原理という視点から現代日本の公教育制度の課題を議論できる。4.法体系および教育行政、教育委員会制度の基本的仕組みを説明できる。5.教育行政の原理を理解した上でその現代的課題を議論できる。6.学級編制および学校安全について関連する法をあげながら基本的用語を用いて説明できる。7.学校安全および学校と地域の協働のあり方について意義や目的を理解した上で課題を議論できる。				
授業の概要	本講義は、①公教育の原理と課題、②教育行政制度、③学校という制度・組織という教育制度に関する3つのテーマを通して、学校教員の日々の教育活動を支える公教育制度とその根拠となる法的規定を理解するとともに、教育の制度に関する諸問題を、社会変動や社会構造の観点も交えながら考察することを目的とする。とくに公教育のあり方や学校教育のあり方について、基礎的知識を踏まえたうえで現代の課題とは何かを理解する。その際に教育が政治や行政システムとも関連することを学ぶ。2年次として必須の基礎知識を獲得し、獲得した知識をもとに各テーマの現代的課題について学生自身の教育観や教師像を深めるために考察する。 【デジタル技術利用】 ①本学が提供するデジタル・プラットフォームを使って課題の提示と課題提出/回収を行う科目 ③講義資料、教材の多くをデジタル資料化する科目 ④BYOD活用を認める科目/推奨する科目 ⑤担当教員の指示のもと、履修者が「授業内、事前事後学習、課題作成において生成AIを利活用する」科目				

授業計画	
第1回	オリエンテーション 本授業の目的・意義・方法等を理解し、現代社会における教育の制度や経営について学ぶ構えをつくる
第2回	日本の教育制度概観 教育制度の定義および日本の教育制度の領域と主な区分について理解し、とくに学校教育制度にかかわる基礎的知識を確実に獲得する
第3回	公教育の原理 1―教育の機会均等― 現代日本における公教育の原理およびそれを実現する法規を理解し、教育における機会均等を実現する制度と課題について考察する
第4回	公教育の原理 2―権利と義務― 教育を受ける権利と教育を受けさせる義務について意義を理解するとともに、現代日本が定める義務性の制度を理解する
第5回	公教育の原理 3―無償性― 公教育の基本原理のうち無償性の原理および法制度について、現状や他国の制度を踏まえながら理解する
第6回	公教育の原理 4―中立性― 公教育の基本原理のうち中立性の原理および法制度について、現状を踏まえながら理解する。また公教育の原理シリーズのまとめとして、グループで公教育制度について議論し、考察を深める
第7回	公教育制度における課題 1―日本における学校再編― 小中一貫教育および中高一貫教育の特徴を理解した上で、近年の学校再編の動向について自分の意見を表現する
第8回	公教育制度における課題 3―教育機会確保法と多様な学び― 就学義務の柔軟化と教育機会確保法の概要を知ったうえで、多様な学びのあり方について考察する
第9回	公教育制度における課題 4―多文化化する子どもと学校― 日本は多民族国家であることを認識したうえで、多文化の子どもたちと教育について現状と今日的課題を理解し、多文化共生を実現する学校について考える
第10回	教育行政制度 1―教育法規の体系と教育行政― 国内外の教育法規の体系を整理し教職調整額制度という具体事例を通して理解を深める
第11回	教育行政制度 2―教育行政の原則と組織― 教育行政の一般原則を踏まえながら、教育行政の組織について基本的知識を獲得した上で、現在の教育委員会制度の概要を理解する
第12回	教育行政制度 3―教育委員会制度の原理― 前時までに学習した教育行政の一般原則および教育委員会の組織など基本的知識を踏まえて教育委員会制度の4つの原理を理解

	し、本シリーズで学習した知識を正しく用いながら、教育委員会制度について考察する
第13回	学校という制度・組織 1—学級編制— 近年の少人数学級をめぐる議論や動向も含め、学級および学級編制の制度に関する基礎知識を獲得した上で、学級編制のあり方について検討する
第14回	学校という制度・組織 2—学校安全— 学校安全に関して自らの経験や講話から関心を高めるとともに、学校安全に関わる法規や取組に関する基礎的知識を獲得する
第15回	学校という制度・組織 3—学校・地域・家庭— 「開かれた学校づくり」に関する方法等の基礎知識を獲得し、その意義を理解する

事前学修	2時間	第1回：シラバスの熟読、第2-14回：各回のテーマに沿った新聞・web記事等から情報収集し、内容をまとめる、第15回：全体を見直し理解できていないところを中心にまとめる
事後学修	2時間	第1-15回：講義内容の確認し、疑問点等の考察を文章にまとめる
フィードバックの方法	事後学修課題および授業内で提示する課題の返却、解答・解説の提示	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
定期試験		50%	基礎的知識の定着および活用を測る。詳細は授業中に指示する
上記以外の試験・平常点評価		50%	事後学習課題25%、授業内で提示する課題25%
補足事項			

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領 木村元，2015,『学校の戦後史』岩波新書			

科目名	教育の社会制度論			担当教員	寺田 圭子	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED2EFE103
期待される学修成果	基礎教養 学校と社会					
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク					
実務経験	教諭(講師を含む)					
実務経験を生かした授業内容	学校現場、教育行政両面の38年の経験をもとに、公教育の意味や意義、様々な教育改革が有効に機能するための課題等について講義し、確かな「教育観」を確立するための授業を、演習形式も取り入れながら展開する。					
到達目標及びテーマ	本講義の到達目標は、①教育に関する基本的な法体系について、教育実践と関連付けながら理解することができる。②学校教育が社会的な枠組みのなかで行われていることを、教育時事と関連付けながら構造的に理解することができる。③近年の教育制度改革の動向を踏まえ、これからの学校の役割・機能を果たす教育制度のあり方・展望について、自分の考えをもち議論することができる。の3点である。					
授業の概要	本講義は、①公教育の原理と課題、②教育行政制度、③学校という制度・組織という教育制度に関する3つのテーマを通して、学校教員の日々の教育活動を支える公教育制度とその根拠となる法的規定を理解するとともに、教育の制度に関する諸問題を、社会変動や社会構造の観点も交えながら考察することを目的とする。とくに公教育のあり方や学校教育のあり方について、基礎的知識を踏まえた上で具体的な事例等を通して現代の課題とは何かを理解する。自分の考えをもち、グループワーク等の協働的な学びでさらに深め、自身の教育観や教師像を深めていく。【デジタル技術利用 該当番号：④】					

授業計画	
第1回	オリエンテーションー教育制度の概観ー
第2回	教育制度と法規① ・教育基本法の概観
第3回	教育制度と法規② ・教育基本法と関連法案
第4回	公教育の原理と課題① ・義務教育の制度 ー機会均等・義務性・無償制ー
第5回	公教育の原理と課題② ・教職員の制度
第6回	公教育の原理と課題③ ・教員養成と研修の制度
第7回	公教育の原理と課題④ ・学校経営に関わる制度
第8回	公教育の原理と課題⑤ ・学校教育制度における課題と展望ー学校再編と教育機会確保法ー
第9回	公教育の原理と課題⑥ ・学校教育制度における課題と展望ー新学習指導要領に関わる議論ー
第10回	教育行政制度① ・教育法規の体系と教育行政
第11回	教育行政制度② ・教育行政の組織、教育委員会制度
第12回	教育行政制度③ ・教育課程行政と教科書制度
第13回	学校という制度・組織① ・学校安全
第14回	学校という制度・組織② ・学校・地域・家庭との連携
第15回	教育の社会制度のまとめ ・教育制度とは何か、これからの学校の役割・機能を果たす教育制度のあり方・展望について

事前学修	2時間	各回のテーマに基づき、関連法規や新聞・web記事等から情報収集し、自分の考えをもつ。
事後学修	2時間	講義内容の確認し、自分の「問い」の考察を文章にまとめる。
フィードバックの方法	授業中に実施するグループワークや個人課題の追究内容に対しては、授業内にコメントを行う。授業後に振り返りやレポートを提出させ、記述内容を評価して返却する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	50%	各ユニットの課題に対する記述式の内容、第15回で行う小論文を評価する。
上記以外の試験・平常点評価	50%	毎時間の授業コメントや振り返り(30%)、グループ活動への貢献度(20%)
定期試験	0%	実施しない
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領			